

平成22年12月3日
消費者庁

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 3件
(うち石油給湯機1件、石油温風暖房機(開放式)1件、
石油ストーブ(開放式)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 9件
(うち電気冷蔵庫1件、ポータブルDVDプレーヤー4件、電子レンジ2件、
電気ミニマット1件、手すり用固定金具1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 4件
(うち電気カーペット1件、介護ベッド用手すり1件、
電気ストーブ(カーボンヒーター)1件、脚立(はしご兼用)1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者
委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者委員会消費者安全専門調査会製品事故情報の公表等に関する調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません(管理番号A200800758、A200900410、A200900428、A200900832、A201000163及びA201000719を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1)株式会社シー・ネットが輸入したポータブルDVDプレーヤーについて
(管理番号A200900410、A200900428、A200900832及びA201000163)

①事象事象及び再発防止策について

株式会社シー・ネットが輸入したポータブルDVDプレーヤーにおいて当該製品から出火する重大製品事故が発生しました。

当該事故の原因は、当該製品に装着するバッテリーパックの製造工程において、バッテリー内部に異物が混入したため、使用中に絶縁劣化が進行し、バッテリー内部で短絡が生じて過熱し、出火に至ったものと考えられます。

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告された重大製品事故は4件あり、いずれの重大製品事故も火災であり、人的被害は生じておりません。また、これら以外の事故は報告されていません。

同社では事故の再発防止を図るため、平成22年12月1日から代替製品との無償交換を実施することとし、同日、プレスリリース及びホームページへの掲載を行うとともに、順次、販売店からダイレクトメールを送付しています。

なお、本件について、同社では、平成22年11月15日、当該製品の使用に当たっては、必ずバッテリーパックを外し、ACアダプターを接続して使用するよう注意喚起しています。

②対象製品等：製品名、型式（品番）、販売期間、対象台数、確認方法

製品名	型式（品番）	販売期間	対象台数（販売台数）
ポータブルDVDプレーヤー	KJ-DVD7300	2007年7月 ～2008年8月	5,608台
	KJ-DVD7100	2007年1月 ～2008年4月	4,718台
合 計			10,326台

対象製品の確認方法：



KJ-DVD7300



品番は本体裏面記載



KJ-DVD7100



品番は本体裏面記載

③事業者の告知

プレスリリース：12月1日（水）

ホームページへの情報掲載：12月1日（水）

販売店を通じてのダイレクトメールの発送：12月1日（水）

④消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちの方は、速やかに下記問い合わせ先に御連絡いただき、製品交換に応じてください。

また、製品交換までの間、使用に当たっては、必ずバッテリーパックを外し、ACアダプターを接続して使用してください。

（株式会社シー・ネットの問い合わせ先）

フリーダイヤル：0120-357-191

受付時間：9時～18時（土、日、祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.cnet-coltd.co.jp>

(2) 株式会社ノーリツが製造した石油給湯機について（管理番号A201000719）

① 事故事象及び再発防止策について

株式会社ノーリツが製造した石油給湯機において、当該製品から発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損しました。

当該事故の原因は、電磁弁に使用されているOリング（パッキン）が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生することから、この漏れた灯油に引火したと考えられます。

同社は、当該製品を含む対象機種（下記）の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について事故の再発防止を図るため、平成14年10月から無償改修を開始し、平成18年12月4日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。さらに、平成21年12月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、47都道府県の石油商業組合及び石油共同組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないのかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っています。

また、社団法人日本ガス石油機器工業会では、同構造の電磁ポンプを有する石油給湯機を製造した事業者等6社と共同で、新聞広告を新聞各社に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています（詳細は、(3)参照。）。

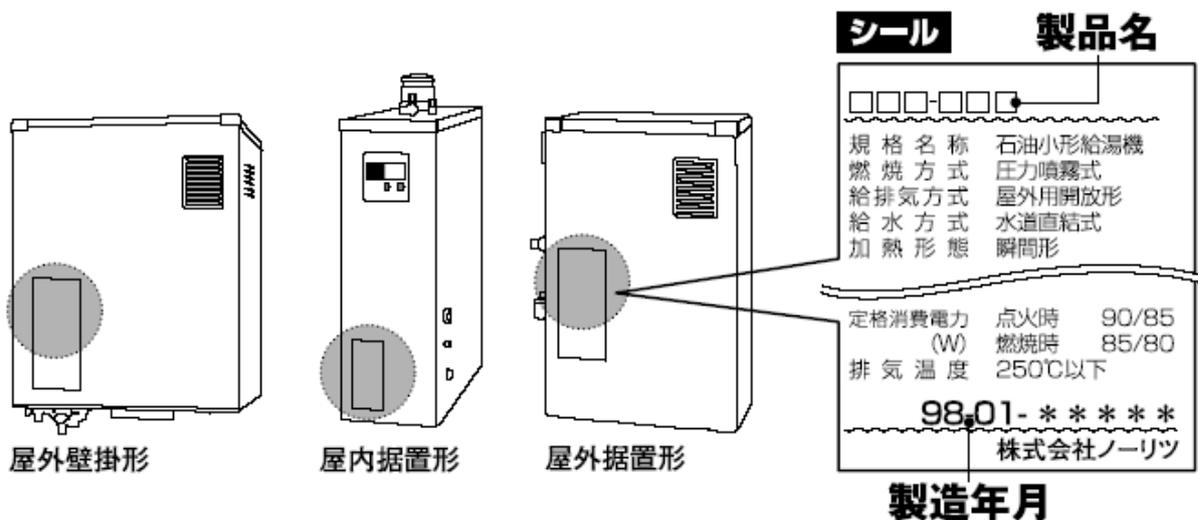
② 対象製品等：会社名、ブランド、機種・型式名及び該当製造年月

会社名	ブランド	機種・型式名	該当製造年月
(株)ノーリツ	NORITZ	OTQ-302 *	1997年(平成9年)3月～ 2001年(平成13年)3月
		OTQ-303 *	
		OTQ-305 *	
		OTQ-403 *	
		OTQ-405 *	
		OQB-302 *	
		OQB-305 *	

		OQB-403 * OQB-405 *
高木産業(株)	パーパス	AX-400ZRD
日立化成工業(株) (現 (株)ハウステック)	—	HO-350 * HO-360 * HO-450 * KZO-460 *

※製品名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

※リコール対象製品の製品名及び製造年月は器具本体前面のシールに表示されています。



改修対象台数 180,900台

改修率 98.0% (平成22年10月30日現在)

③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、下記問い合わせ先に速やかに御連絡ください。

なお、改修対象製品には、株式会社ノーリツの「NORITZ」ブランドのほか、高木産業株式会社の「パーパス」ブランド、日立化成工業株式会社（現 株式会社ハウステック）の製品もあります。

(株式会社ノーリツの問い合わせ先)

電話番号：0120-018-170

受付時間：9時～19時（平日）

9時～17時（土・日・祝日）

ホームページ：<http://www.noritz.co.jp/contact/important/01/index.html>

(高木産業株式会社の問い合わせ先)

電話番号：0120-575-399

受付時間：9時～18時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ホームページ：http://www.purpose.co.jp/special_kinkyu/xyz-news1.htm

(株式会社ハウステックの問い合わせ先)

電話番号：0120-551-654

受付時間：9時～17時30分（平日）

ホームページ：<http://www.housetec.co.jp/topics/05furogama.html>

(3) 社団法人日本ガス石油機器工業会及び製造事業者の取組みについて

社団法人日本ガス石油機器工業会では、石油給湯機等について上記リコール開始後も未改修品での事故が発生しているため、同構造の電磁ポンプを有する石油給湯機等を製造した株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）、長州産業株式会社及びOEMを含む6社と共同で、平成20年11月から12月までにかけて、順次、新聞広告を新聞各社に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡するよう呼び掛けを行っています。

また、同工業会のホームページにおいて、東京ツチヤ販売株式会社及び株式会社ワカサの2社を加えた8社について注意喚起をしています。

対象製品等：会社名、ブランド名、問い合わせ先、機種・型式名及び製造期間

会社名<ブランド名>	問い合わせ先	機種・型式名		製造期間
長州産業(株) <C I C>	ホームページ www.choshu.co.jp フリーダイヤル 0120-652-963	PDX-403D	DX-403D	平成8年5月～ 平成11年10月
		PDF-403D	DF-403D	
東陶機器(株) (現TOTO(株)) <TOTO>	ホームページ www.toto.co.jp フリーダイヤル 0120-444-309	PDX-403DF		平成7年8月～ 平成11年6月
		PDF-321V	PDF-401A	
(株)ノーリツ <NORITZ>	ホームページ www.noritz.co.jp フリーダイヤル 0120-018-170	PDF-411D-A	DX-411D	平成7年8月～ 平成11年6月
		PDX-321V	PDX-411D	
高木産業(株) <パーパス>	ホームページ www.purpose.co.jp フリーダイヤル 0120-575-399	RPE32K*	RPE40K*	平成7年8月～ 平成11年6月
		RPE41K*	RPH32K*	
東京ツチヤ販売(株) <ツチヤ>	ホームページ www.choshu.co.jp フリーダイヤル 0120-652-963 長州産業(株)で受付	RPH40K*	RPH41K*	平成9年3月～ 平成13年3月
		OTQ-302*	OTQ-303*	
ネポン(株) <NEPON>	ホームページ www.nepon.co.jp フリーダイヤル	OTQ-305*	OTQ-403*	平成8年5月～ 平成11年10月
		OTQ-405*	OQB-302*	
長州産業(株) <パーパス>	ホームページ www.purpose.co.jp フリーダイヤル 0120-575-399	OQB-305*	OQB-403*	平成7年8月～ 平成11年6月
		OQB-405*		
東京ツチヤ販売(株) <ツチヤ>	ホームページ www.choshu.co.jp フリーダイヤル 0120-652-963 長州産業(株)で受付	TP-BS320*D		平成7年8月～ 平成11年6月
		(但し、TP-BS320は除く)		
ネポン(株) <NEPON>	ホームページ www.nepon.co.jp フリーダイヤル	TP-BS402*D		平成9年3月～ 平成13年3月
		TP-BSQ402*		
東京ツチヤ販売(株) <ツチヤ>	ホームページ www.choshu.co.jp フリーダイヤル 0120-652-963 長州産業(株)で受付	AX-400ZRD		平成8年5月～ 平成11年10月
		AX-402A	EX-403A	
ネポン(株) <NEPON>	ホームページ www.nepon.co.jp フリーダイヤル	FK-405A	FC-406A	平成7年8月～ 平成11年6月
		URA320	URA320S	
東京ツチヤ販売(株) <ツチヤ>	ホームページ www.choshu.co.jp フリーダイヤル 0120-652-963 長州産業(株)で受付	URB320	URB320S	平成7年8月～ 平成11年6月
		UR320	UR320S	

	0120-444-309 TOTO(株)で受付	UR404S	
日立化成工業(株) (現株)ハウステック	ホームページ www.housetec.co.jp フリーダイヤル 0120-551-654	HO-350 * HO-450 *	HO-360 * KZO-460 * 平成9年3月～ 平成13年3月
(株)ワカサ <ワカサ>	ホームページ www.choshu.co.jp フリーダイヤル 0120-652-963 長州産業(株)で受付	WBF-400C	平成8年5月～ 平成11年10月

※製品名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

(社団法人日本ガス石油機器工業会)
ホームページ : <http://www.jgka.or.jp/>

■各製造メーカーの代表機種

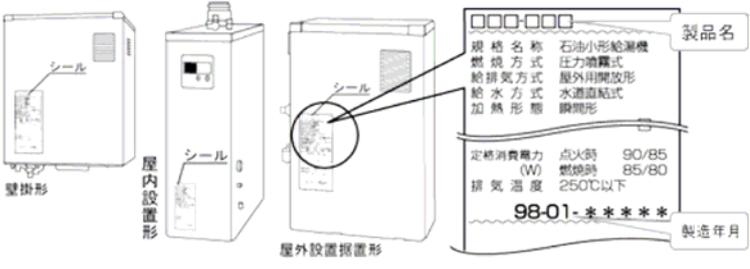
※詳細はメーカーのホームページをご参照下さい

該当機種 (写真は一部)

- ・本体と製品名・製造年月日は器具本体前面にシールにて表示されています。
- ※形状は各社により、排気部の形状など異なります。
- ※掲載写真は一部ですべてではありません。詳細はメーカーのホームページをご覧ください。



長州産業 TOTO ノーリツ



壁掛形 屋内設置形 屋外設置形

規格名称	石油小形輪廻機	製品名
燃焼方式	圧力増圧式	
給排気方式	屋外用開放形	
給水方式	水道直結式	
加熱形態	瞬間形	
定額消費電力 (W)	点火時 90/85 燃焼時 85/80	
排気温度	250℃以下	
98-01-*****		製造年月

(4) 小泉成器株式会社が輸入した電子レンジについて (管理番号A201000725)

①事故事象及び再発防止策について

小泉成器株式会社が輸入した電子レンジにおいて、当該製品のスイッチ操作部付近から発煙・出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品を含む対象機種 (下記) については、一部の製品において、当該製品を使用中に、扉を開閉し、電源の入切が繰り返されることでドアの開閉を検知するスイッチが接触不良となり、スパーク (電気火花)

が発生し、トラッキング現象（絶縁破壊による短絡）が起こり発煙、出火に至る事故が発生しています。

同社は、事故の再発防止を図るため、平成19年9月12日、新聞社告を掲載し、対象製品について、使用の中止を呼び掛けるとともに、無償改修を実施しています。

また、同社では、平成20年6月21日に新聞社告を掲載するとともに、平成21年1月以降複数回にわたり、テレビCM放送で注意喚起を行い、対象製品について無償改修を呼びかけています。

②対象製品等：機種・型式名、製造番号及び改修対象台数

機種・型式名	輸入期間	改修対象台数
KRD-0105	平成9年3月～平成11年9月	18,978
KRD-0106	平成9年3月～平成12年7月	61,094
合計		80,072

改修対象台数 80,072台（2機種合計）

改修率 5.5%（平成22年10月31日現在）

対象製品の確認方法：

（KRD-0105の場合）



（KRD-0106の場合）



③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちの方で、まだ販売事業者の行う無償改修を受けていない方は、使用を中止していただくとともに、下記問い合わせ先に速やかに御連絡ください。

（小泉成器株式会社オーブンレンジ相談室の問い合わせ先）

フリーダイヤル：0120-551-494

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・休業日を除く。）

ホームページ：<http://www.seiki.koizumi.co.jp/support/osirase.html>

(5) ワタナベ工業株式会社が製造し、株式会社山善が販売した電気ミニマットについて（管理番号A201000726）

①事象及び再発防止策について

ワタナベ工業株式会社が製造し、株式会社山善が販売した電気ミニマットにおいて、当該製品から出火したと思われる火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品を含む対象機種（下記）については、一部の製品において、当該製品のヒーター線を固定する接着剤の不具合によりヒーター線が重なり過熱、出火に至る火災が発生しています。

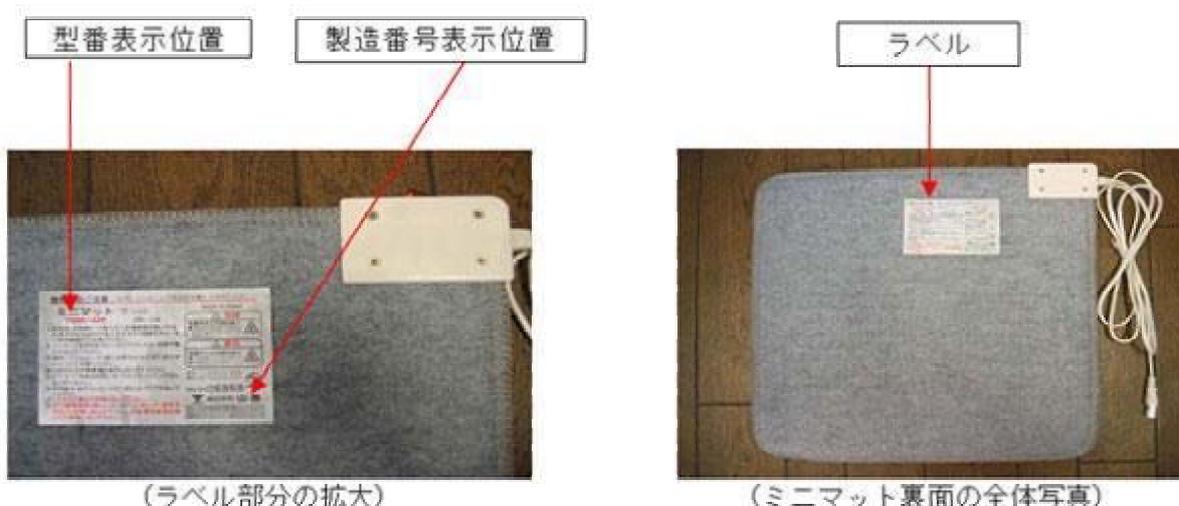
製造事業者であるワタナベ工業株式会社は、事故の再発防止を図るため、平成19年1月22日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について回収を実施しています。

②対象製品等：機種・型式名、対象製造番号、製造期間及び改修対象台数

機種・型式名	対象製造番号	製造期間	回収対象台数
YMM-455	No. 04-*****	平成16年7月	45,997
YMM-605		～	15,005
WHC-45G		平成16年11月	9,327
合計			70,329

回収対象台数 70,329台（3機種合計）
 回収率 5.2%（平成22年11月10日現在）

対象製品の確認方法：



③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収を受けていない方は、使用を中止し、下記問い合わせ先に速やかに御連絡ください。

（株式会社山善の問い合わせ先）

フリーダイヤル：0120-545-191

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.yamazen.jp/japanese/csr/quality03/important/list/20070122>

（ワタナベ工業株式会社の問い合わせ先）

フリーダイヤル：0120-545-191

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.watanabe-ind.co.jp/company/images/01.pdf>

(6) 三洋電機株式会社が製造した電子レンジについて（管理番号A201000728）

① 事故事象及び再発防止策について

三洋電機株式会社が製造した電子レンジにおいて、当該製品内部より発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品を含む対象機種（下記）については、一部の製品において電源コードの配線に何らかの製造上の問題があり、接触不良のため発熱し、電源コード被覆から出火し、機器内で延焼する火災が発生しています。

同社は、事故の再発防止を図るため、平成20年6月21日、新聞社告を掲載し、対象製品について、使用の中止を呼び掛けるとともに、無償改修を実施しています。

また、同社では、平成21年6月9日から18日にかけて新聞広告を再度掲載すると共に、平成22年9月に当該リコール情報を掲載したチラシを作成し、販売店や消費生活センター等へ配布するとともに、消費者に配布し、注意喚起を行っています。

② 対象製品等：対象機種、製造番号及び改修対象台数

対象機種	製造番号	改修対象台数
EMO-S3(HL)	043501～051500	8,000
EMO-CH3(HW)	023001～025000	2,000
EMO-SH1(H)	006001～009000	3,000
EMO-CH4	製造番号にかかわらず 左記の対象機種全体が 対象となります。	45,000
EMO-S4		69,600
EMO-H40		17,800
EMO-CH5		67,600
EMO-S5		34,400
EMO-ME5		3,700
EMO-MVP5		5,800
EMO-T5		18,500
EMO-CH6		66,810
EMO-S6		31,355
EMO-H60		9,450
EMO-MVP6		3,900
EMO-T6		11,245
EMO-CH7		69,151
EMO-S7		27,175
EMO-KDH1		34,341
EMO-MVP7		3,990
EMO-T7		12,803
EMO-CH8		86,856
EMO-S8		29,509
EMO-BC8		5,586
EMO-TH5		11,970
EMO-S9		19,152
EMO-CH9	92,568	
EMO-TH6	7,980	

EMO-CH8FF		1,680
EMO-SJ9		4,788
EMO-CH10		78,999
合 計		884,708

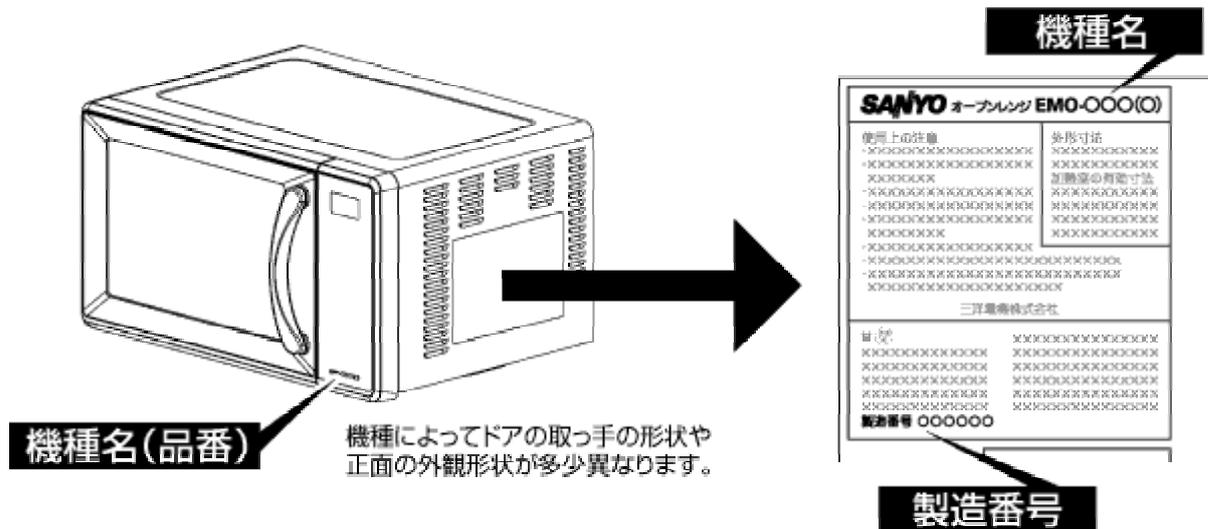
※平成12年6月～平成19年9月の間に製造されたもの

※「EMO-CH8FF」は、Franc francブランド

改修対象台数 884,708台

改修率 15.2% (平成22年11月30日現在)

対象製品の確認方法：



③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う改修を受けていない方は、使用を中止していただくとともに、下記問い合わせ先に速やかに御連絡ください。

(三洋電機株式会社オーブンレンジ相談室の問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-34-1105

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：http://jp.sanyo.com/info/products_safety/080711.html

(7)パラマウントベッド株式会社が製造した介護ベッド用手すりについて

(管理番号A201000721)

①事故事象及び再発防止策について

パラマウントベッド株式会社が製造した介護ベッド用手すり（スイングアーム）で、使用者が手すりとマットレスのすき間に足が入り込んだ状態で発見される事故が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

なお、当該製品は、グリップ部に頭部などが入り込んでしまう可能性があるとして当該製品を含む同社製介護ベッド用手すりの対象製品（下記）について、平成13年10月から当該製品のすき間を埋めるための簡易部品を無償で配布しています。しかしながら、当該事故が発生した現場においては、簡易部品が使用されておりませんでした。使用されていなかった経緯については調査中です。

②対象製品の名称等：対象製品の名称、機種・型式
スイングアーム用簡易部品

対象製品の名称	機種・型式
アームスペーサー	Tタイプ KA-089、KQ-87R、KQ-87L 用
アームスペーサー	Iタイプ KA-088 用

③消費者への注意喚起

介護ベッド手すりの使用に際しては、グリップ部のすき間への頭部などが入り込んだ場合、死亡や重傷などの重大な事故が発生する恐れがあります。現在、入り込みを防止する安全対策として、グリップ部のすき間を埋める簡易部品（樹脂製）が、各事業者により供給されております。同様のスイングアームを御使用されている場合は、各事業者に御連絡いただき、同簡易部品を取り寄せ、介護の現場においては、必ずスイングアームに装着するようにしてください。

平成21年3月には、介護ベッドの日本工業規格（JIS）が改正され、頭・首の挟み込み事故を防ぐためのすき間の基準強化が図られています。重大な被害に至る事故の発生を防止し、安全を確保のために、必ず簡易部品を使用するか、挟み込み・入り込みが起きにくい改正されたJISに対応した製品に変更してください。介護ベッド用手すりを使用する方々及び使用者を介護する方々には、取扱説明書、製品の注意表示、製造事業者及び業界団体のホームページ、チラシなどに記載されている注意事項を今一度、御確認いただき、製品に関するリスクを認識し、正しく使用してください。

製品の使用の際に、不具合や不安等がある場合には、製造事業者又は販売事業者等に速やかに御連絡・御相談ください。

日本福祉用具・生活支援用具協会及び医療・介護ベッド安全普及協議会においては介護ベッドのサイドレール・手すり等による事故等についての注意喚起の呼び掛けを行っておりますのでご覧下さい。

（日本福祉用具・生活支援用具協会のホームページ）

URL：<http://www.jaspa.gr.jp/>

（医療・介護ベッド安全普及協議会のホームページ）

URL：<http://www.bed-anzen.org/>

（本発表資料の問い合わせ先）

消費者庁消費者安全課

（製品事故情報担当） 担当：中嶋、服部、榎本

電話：03-3507-9204（直通）

（事故情報対応チーム） 担当：坂田、滝

電話：03-3507-9146（直通）

（株式会社シー・ネットが輸入したポータブルDVDプレーヤーについての発表資料に関する問い合わせ先）

（小泉成器株式会社が輸入した電子レンジについての発表資料に関する問い合わせ先）

（ワタナベ工業株式会社が製造し、株式会社山善が販売した電気ミニマットについての発表資料に関する問い合わせ先）

（三洋電機株式会社が製造した電子レンジについての発表資料に関する問い合わせ先）

する問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、吉津、山崎 電話：03-3501-1707 (直通)

(株式会社ノーリツが製造した石油給湯機についての発表資料に関する問い合わせ先)

(社団法人日本ガス石油機器工業会及び製造事業者の取り組みについての発表資料に関する問い合わせ先)

(パラマウントベッド株式会社が製造した介護ベッド用手すりについての問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、中村、野中 電話：03-3501-1707 (直通)

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201000719	平成22年11月19日	平成22年11月29日	石油給湯機	OQB-302Y	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、プレーカーが作動すると同時に、当該製品から発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 事故原因は、電磁弁に使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火して機器内部が焼損したと考えられる。	千葉県	製造から10年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコール実施 改修率 98.0%
A201000722	平成22年11月18日	平成22年11月29日	石油温風暖房機(開放式)	FW-3050S	ダイニチ工業株式会社	火災 死亡1名	建物が全焼し、1名が死亡する火災が発生した。現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	静岡県	平成22年12月1日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201000729	平成22年11月19日	平成22年12月1日	石油ストーブ(開放式)	SX-E290Y	株式会社コロナ	火災 重傷1名 軽傷2名	当該製品を使用中、消火をせずに給油タンクを取り外して給油を行い、当該製品に戻す際、灯油がこぼれ、当該製品から出火する火災が発生し、建物が全焼、1名が重傷、2名が軽傷を負った。給油時の状況も含め、現在、原因を調査中。	滋賀県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A200800758	平成20年10月20日	平成20年10月29日	電気冷蔵庫	GR-76A	東芝ホームアプライアンス株式会社	火災	当該製品の天板部付近の操作パネル及びコンセントが焼損する火災が発生した。 当該製品は、天板後部に操作パネル(庫内温度設定部)とサービスコンセントを有している。事故原因は、長期使用(約40年)に伴う経年劣化によって操作パネル内部のコントロールスイッチの接点が荒れたため、接触不良による異常発熱が生じ、最終的に発火に至ったものと考えられる。	大阪府	平成20年10月31日に製品起因か否かが特定できない事故として経済産業省が公表していたもの製造から40年以上経過した製品
A200900410	平成21年8月21日	平成21年8月24日	ポータブルDVDプレーヤー	KJ-DVD7300	株式会社シー・ネット (輸入事業者)	火災	当該製品を充電しながら使用していたところ、当該製品から出火した。 事故原因は、当該製品に装着するバッテリーパックの製造工程において、バッテリー内部に異物が混入したため、使用中に絶縁劣化が進行し、バッテリー内部で短絡が生じて過熱し、出火に至ったものと考えられる。	熊本県	平成22年11月16日に製品起因が疑われる事故として使用上の注意喚起を実施する旨公表していたもの 平成22年12月1日からリコールを実施
A200900428	平成21年8月20日	平成21年8月27日	ポータブルDVDプレーヤー	KJ-DVD7300	株式会社シー・ネット (輸入事業者)	火災	当該製品を充電しながら使用していたところ、バッテリー付近から発火し、当該製品周辺が焼損した。 事故原因は、当該製品に装着するバッテリーパックの製造工程において、バッテリー内部に異物が混入したため、使用中に絶縁劣化が進行し、バッテリー内部で短絡が生じて過熱し、出火に至ったものと考えられる。	大分県	平成22年11月16日に製品起因が疑われる事故として使用上の注意喚起を実施する旨公表していたもの 平成22年12月1日からリコールを実施
A200900832	平成21年12月19日	平成21年12月28日	ポータブルDVDプレーヤー	KJ-DVD7300	株式会社シー・ネット (輸入事業者)	火災	当該製品を充電中に発火する火災が発生した。 事故原因は、当該製品に装着するバッテリーパックの製造工程において、バッテリー内部に異物が混入したため、使用中に絶縁劣化が進行し、バッテリー内部で短絡が生じて過熱し、出火に至ったものと考えられる。	静岡県	平成22年11月16日に製品起因が疑われる事故として使用上の注意喚起を実施する旨公表していたもの 平成22年12月1日からリコールを実施

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201000163	平成22年5月11日	平成22年5月21日	ポータブルDVDプレーヤー	KJ-DVD7100	株式会社シー・ネット (輸入事業者)	火災	当該製品から発煙する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 事故原因は、当該製品に装着するバッテリーパックの製造工程において、バッテリー内部に異物が混入したため、使用中に絶縁劣化が進行し、バッテリー内部で短絡が生じて過熱し、出火に至ったものと考えられる。	栃木県	平成22年11月16日に製品起因が疑われる事故として使用上の注意喚起を実施する旨公表していたもの 平成22年12月1日からリコールを実施
A201000725	平成22年11月22日	平成22年11月30日	電子レンジ	KRD-0106	小泉成器株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品で食材を解凍中、当該製品のスイッチ操作部付近から発煙・出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 事故原因は、当該製品を使用する際に、扉を開閉し、電源の入切が繰り返されることでドアの開閉を検知するスイッチが接触不良となり、スパーク(電気火花)が発生し、トラッキング現象(絶縁破壊による短絡)が起り、発煙・発火に至ったものと考えられるが、現在、原因を調査中。	秋田県	平成19年9月12日からリコールを実施 改修率 5.5%
A201000726	平成22年11月19日	平成22年11月30日	電気ミニマット	YMM-605(株式会社山善ブランド)	ワタナベ工業株式会社(株式会社山善ブランド) (輸入事業者)	火災	当該製品の電源を入れたまま、その場を離れ就寝していたところ、火災報知器が鳴動したため、確認すると、当該製品から出火したと思われる火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。 事故原因は、当該製品のヒーター線を固定する接着剤の不具合によりヒーター線が重なり過熱、発火に至ったものと考えられるが、現在、原因を調査中。	千葉県	平成19年1月22日からリコールを実施 改修率 5.2%
A201000727	平成22年10月30日	平成22年12月1日	手すり用固定金具	KRTP-1012(株式会社パルブランド)	榎本金属株式会社(株式会社パルブランド) (輸入事業者)	重傷1名	当該製品を装着した手すりに掴まって靴を脱ぎ、玄関から床に上がろうとしたところ、当該製品が破損し、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	北海道	事業者が重大製品事故の発生を認識したのは、11月30日
A201000728	平成22年11月23日	平成22年12月1日	電子レンジ	EMO-CH7	三洋電機株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用後、当該製品内部より発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。現在、原因を調査中。	広島県	平成20年6月21日からリコールを実施 改修率 15.2%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201000720	平成22年11月13日	平成22年11月29日	電気カーペット	火災	当該製品から発煙する火災が発生し、当該製品の一部及び周辺が焼損した。当該製品から出火したのか他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201000721	平成22年11月2日	平成22年11月29日	介護ベッド用手すり	重傷1名	当該製品の脚部(ベッドとの固定部)とマットレスの間に、利用者(80歳代男性)の足が挟まった状態で発見され、負傷が確認された。現在、原因を調査中。	愛知県	事業者名: パラマウントベッド株式会社 機種・型式: KA-089 当該事故は、製品起因か否かが特定できていないものである。 当該製品は、平成4年から平成12年までの間に、パラマウントベッド株式会社が製造したものである。 本件事故は脚部による挟み込み事故であるが、これとは別に、当該製品のグリップ部には縦が約15cm、横が約34cmのすき間があることから、同社は不意の動作により頭や手足がグリップ部のすき間に入り込むことを防止するため、平成13年10月から当該すき間を埋めるためのT字型の簡易部品を無償で配布している。 当該製品の使用者・所有者・管理者に向けて事故の危険性を周知し、簡易部品の装着・使用を着実に促すため事業者名及び機種・型式を公表するもの。 なお、当該製品は、製造・出荷時の日本工業規格(JIS)に適合している。
A201000723	平成22年11月10日	平成22年11月29日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	火災	当該製品を使用中、当該製品の電源コードから出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。当該製品の電源コードに屈曲、引っ張りなどの力が加わり半断線した可能性も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201000724	平成22年11月25日	平成22年11月29日	脚立(はしご兼用)	重傷1名	当該製品をはしごとして使用中、当該製品から落下し、負傷した。当該製品の支柱が折れていることから、事故発生時の状況も含め、現在、原因を調査中。	東京都	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし

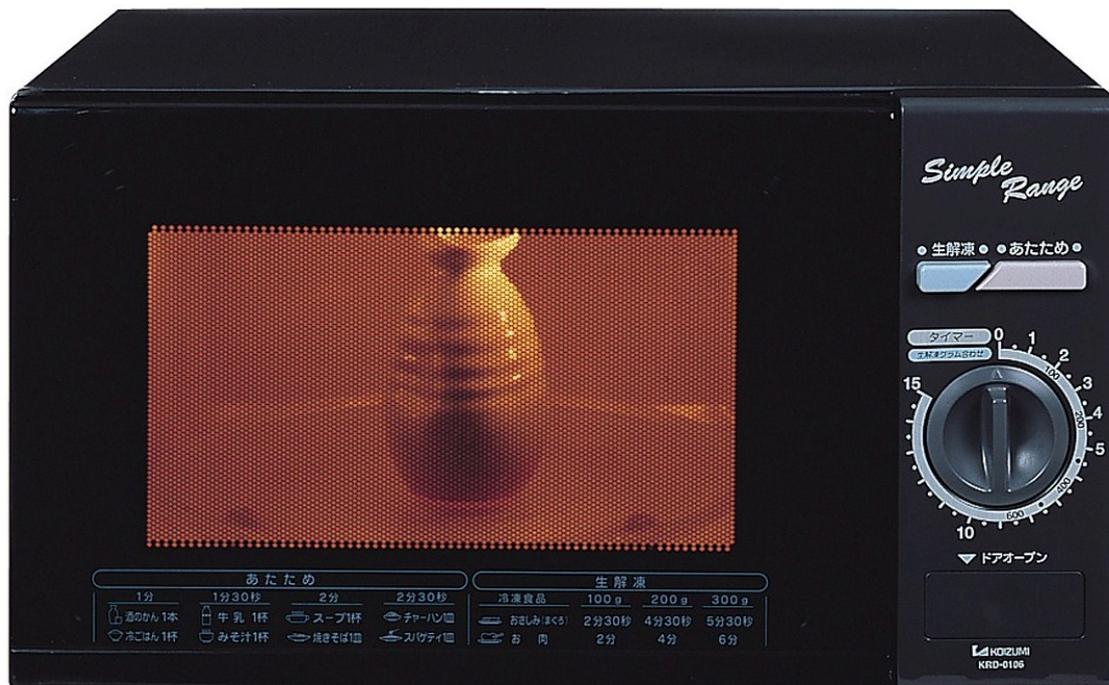
ポータブルDVDプレーヤー（管理番号：A200900410、A200900428、A200900832）



ポータブルDVDプレーヤー（管理番号：A201000163）



電子レンジ（管理番号：A201000725）



電気ミニマット（管理番号：A201000726）



手すり用固定金具（管理番号：A201000727）



電子レンジ（管理番号：A201000728）

